

糸魚川市駅北大火 10 年事業

1 開催目的

糸魚川市駅北大火の発生から 10 年の節目を迎えるにあたり、火災の記憶を風化させることなく、二度とこのような大規模火災を発生させないために、シンポジウムと消防演習を二日間にわたり実施する。

2 駅北大火 10 年事業（6 月現在の予定）

（1）シンポジウム

① 概要

- ・日 時：令和8年12月19日（土） 午後1時から午後4時
- ・会 場：糸魚川市民会館 大ホール（オンライン配信実施予定）

② 内 容

ア 基調講演 NPO 法人日本防火技術者協会理事長 関澤 愛 氏
 テーマ：「近年の大規模火災と予防策（仮）」

イ 糸魚川白嶺高校防災学習発表

ウ トークセッション

（ア） 登壇者

- ・コーディネーター 関澤 愛 氏
- ・糸魚川市駅北大火関係者（糸魚川市消防本部）
- ・輪島市大規模火災関係者（奥能登広域圏事務組合消防本部）
- ・大船渡市林野火災関係者（大船渡地区消防組合）
- ・大分市佐賀関大規模火災関係者（大分市消防局）

（イ） 内容

- ・火災を発生させないためにはどうしたらよいか
- ・火災が発生したらどう行動するか

エ 大規模火災ゼロ宣言

糸魚川市長・こども消防隊・トークセッション登壇者・その他

オ その他

- （ア） エントランスで各大規模火災のダイジェストショートムービーの放映
- （イ） 防災資器材（住宅用火災警報器、感震ブレーカー等）の展示
- （ウ） 各大規模火災の写真パネル、関係物品の展示

(2) 消防演習

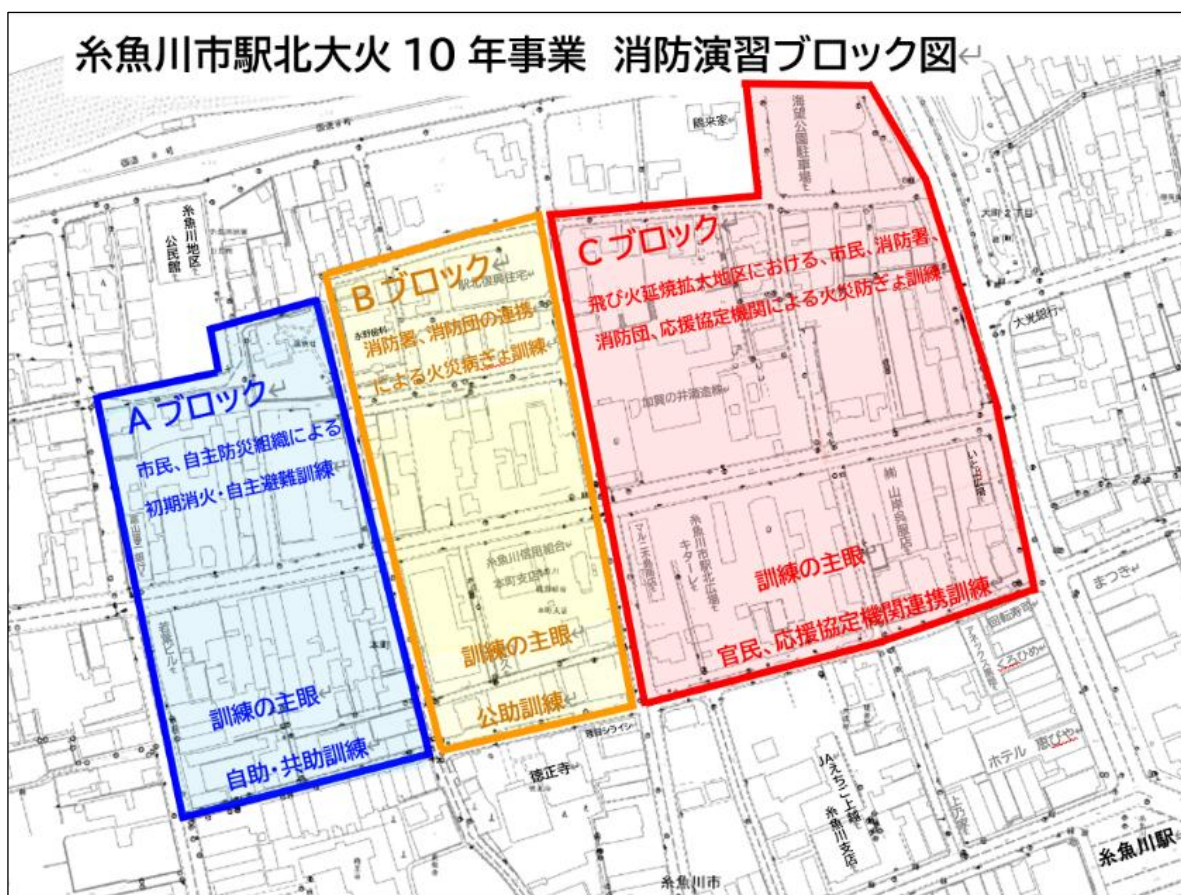
① 概 要

- ・ 日 時：令和8年12月20日（日）
午前9時30分から午前11時30分
- ・ 場 所：糸魚川市大町地区、本町地区（キターレ周辺）
- ・ 想 定：糸魚川市内陸部を震源とする地震が発生、糸魚川市内で最大震度6弱を
観測し、市内で多数の建物の倒壊、また一部地域で停電が発生。
地震発生から1時間後に停電が復旧した後、本町通りの複数の建物から
出火。

② 内 容

- ・ 市民による避難・初期消火訓練（Aブロック）
- ・ 消防署、消防団による火災防ぎょ連携訓練（Bブロック）
- ・ 市民、消防署、消防団、隣接3消防本部による火災防ぎょ訓練（Cブロック）
- ・ 「駅北大火を経験し、火災に強いまちづくりの取組（仮称）」の披露
（大火後に設置された設備や自主防災組織、こども消防隊訓練の披露）
- ・ コンクリートミキサー車連携訓練（海望公園駐車場：応援協定締結事業者連携訓練）
- ・ 訓練内容をキターレ内で視聴できるよう、映像・音響設備を設置

【演習ブロック図】



(3) 予算（国補助申請内訳）

収 入

区 分	事 業 名	予算額
国庫委託費	地域防災力充実強化推進事業（シンポジウム）	1,643,000
	消防団の力向上モデル事業（消防演習）	1,680,800
収入合計		3,323,800

支 出

区 分	算 定 根 拠	予算額
謝金	・ 講演者謝礼 60,000 円×6 人	360,000
旅費	・ 打合せ会議旅費 22,760 円×4 人	91,040
需用費	・ シンポジウム展示用写真パネル 23,100 円×4 枚 ・ 防火啓発タペストリー 10,120 円×50 枚 ・ キターレ展示用スクリーンタペストリー 39,600 円×1 枚	638,000
	・ 食糧費 ・ 演習参加者等昼食 1,300 円×30 人	39,000
	・ 印刷製本費 ・ 広報用ポスター 462 円×100 枚 ・ シンポジウム当日パンフレット 264 円×1,500 部	442,200
委託費	・ シンポジウム司会 72,600 円×1 人 ・ 消防演習 音響・画像転送技術委託一式 1,680,800 円	1,753,400
支出合計		3,323,640

※12 月 20 日演習の消防団員活動費は市予算で別途支給 (3,000 円×300 人)

(4) 来賓者等

国会議員、消防庁長官、日本消防協会長、消防研究センター長、
新潟県知事、県議会議員、新潟県消防協会長、新潟県消防長会長、
近隣市町村長、隣接消防(局)長、市議会議員、地元協力事業所ほか

(5) その他

① 意見交換会

- ・ 日 時 12 月 19 日（土） 午後 5 時から午後 6 時 30 分
- ・ 場 所 ヒスイ王国館